

注3

大学番号：私018

[平成29年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

認可

仙台大学 体育学部 子ども運動教育学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人朴沢学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 入試創職室

職名・氏名 シム タントウ チュウバチ ヨシタカ
事務担当 中鉢 芳尚

電話番号 0224-55-1017

（夜間） 0224-55-1121

F A X 0224-57-2769

e-mail ys-chubachi@sendai-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

体育学部

＜子ども運動教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人朴沢学園

(2) 大 学 名

仙台大学

(3) 大学の位置

〒989-1693

宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ホウザワ タイジ) 朴澤 泰治 (平成3年4月)		
学 長	(アベ ヨシキチ) 阿部 芳吉 (平成26年4月)		
学 部 長			
学科長等	(クノウ カズオ) 久能 和夫 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
体育学部 子ども運動教育学科 学士(子ども運動教育学)	体育関係、 教育学・ 保育学関係	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成29年度								平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	-人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.45倍	
志願者数	34 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	34 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	25 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	18 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.45									

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成29年度								備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	18 [-] (-)	- [-] (-)								
2 年次										
3 年次										
4 年次										
計	18 [-] (-)									

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	18 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成 年度	人	人		
			平成 年度	人	人		
			平成 年度	人	人		
平成 年度 入学者	人	人	平成 年度	人	人		%
			平成 年度	人	人		
			平成 年度	人	人		
平成 年度 入学者	人	人	平成 年度	人	人		%
			平成 年度	人	人		
平成 年度 入学者	人	人	平成 年度	人	人		%
合 計	18 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<体育学部 子ども運動教育学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
基 礎 科 目	導入演習	1 前	2			1		1			兼 2 教育課程充実のため担当者増 (29)
	情報処理	1 前	2								兼 1
	学習基礎教養演習	1 後	2			1					兼 4 教育課程充実のため担当者増 (29)
	英語 A (含外国語コミュニケーション)	1 前	2								兼 1 兼 4 教育課程充実のため担当者増 (29)
	英語 B (含外国語コミュニケーション)	1 後	2								兼 1
	哲学入門	1・2・3・前		2							兼 1
	現代の思想	1・2・3・後		2							兼 1
	心理学概論	1・2・3・前		2							兼 1
	人の心と行動	1・2・3・後		2							兼 1
	ことばと人間 A	2 前		2							兼 1
	ことばと人間 B	2 後		2							兼 1
	日本の文化 I	1 休		2							兼 1 留学生の入学者がいなかったため未開講 (29)
	日本の文化 II	1 休		2							兼 1 留学生の入学者がいなかったため未開講 (29)
	社会学概論	1・2・3・前		2				1			
	社会構造と人間関係	1・2・3・後		2				1			兼 2 教育課程充実のため担当者増 (29)
	消費経済とスポーツ	1・2・3・後		2							兼 1
	世界経済・日本経済とスポーツ	1・2・3・前		2							兼 1
	法学	1・2・3・前		2							兼 1
	歴史学入門	1・2・3・前		2							兼 1
	歴史と人間	1・2・3・後		2							兼 1
	生物科学	1・2・3・前		2							兼 1
	エコロジー概論	1・2・3・後		2							兼 1
	教養数学	1・2・3・前		2							兼 1
	体育系大学の基礎教養	1 前	2			1					
	仙台大学の専門教養演習Ⅰ	2 通	2								兼 1
	仙台大学の専門教養演習Ⅱ	3 通	2								兼 1
	仙台大学の専門教養演習Ⅲ	4 通		2							兼 1
	全学教養演習	2 前・後	2			4 5	1	3	1		牛志奎教授就任辞退により変更 (29) 後任補充せず
	イングリッシュ・トランスレーション	3 前		2							兼 1
	イングリッシュ・リーディング A	2 前		2							兼 1
	イングリッシュ・リーディング B	2 後		2							兼 1
	英会話 A	2 前		2							兼 1
	英会話 B	2 後		2							兼 1
	スポーツ&イングリッシュ	3 前		2							兼 1
	ドイツ語Ⅰ	3 前		2							兼 1
	ドイツ語Ⅱ	3 後		2							兼 1
	スペイン語Ⅰ	3 前		2							兼 1
	スペイン語Ⅱ	3 後		2							兼 1
	中国語Ⅰ	2 前		2		1					牛志奎教授就任辞退により変更 (29)
	中国語Ⅱ	2 後		2							兼 1 兼担 馬佳濤 (准教授)
	韓国語Ⅰ	2 前		2				1			兼 1
	韓国語Ⅱ	2 後		2				1			兼 1
	日本語Ⅰ	1 休		2							兼 1 留学生の入学者がいなかったため未開講 (29)
	日本語Ⅱ	1 休		2							兼 1 留学生の入学者がいなかったため未開講 (29)
	日本語Ⅲ	1 休		2							兼 1 留学生の入学者がいなかったため未開講 (29)
	日本語Ⅳ	1 休		2							兼 1 留学生の入学者がいなかったため未開講 (29)
	キャリアプランニングⅠ	1 後	2			1		1			
	キャリアプランニングⅡ	2 休	2								兼 1
	キャリアプランニングⅢ	3 前	2								兼 1
	スポーツ社会学	1 前	2								兼 1
	スポーツ心理学	1 前	2								兼 2 教育課程充実のため担当者増 (29)
	スポーツバイオメカニクス	2 前	2								兼 1

専門基礎科目	運動生理学	2 後	2						兼 1	
	スポーツ指導の基礎 (含実習)	2 後	2						兼 1	
	幼少年体育論	2 前	2						兼 1	
	子どもの生活Ⅰ	1 前	2		1					
	子どもの生活Ⅱ	1 後	2		1					
	体育講義	1 前	1		1					
	幼児体育論	1 前	2				1			
	子どもと発育	1 後	2				1			
	子どもとあそび	1 後	1		1					
		1 後							兼 6	教育課程充実のため担当者増 (29)
	トレーニングの基礎	1 前	1						兼 1	
									兼 4	教育課程充実のため担当者増 (29)
	陸上競技	1 前・後	1						兼 1	
	器械運動	2 前・後	1						兼 1	
	水泳	1 前	1						兼 1	
									兼 2	教育課程充実のため担当者増 (29)
	バレーボール	1 前・後	1						兼 1	
	バスケットボール	1 前・後	1						兼 1	
	ハンドボール	1 前・後	1						兼 1	
	サッカー	2 前・後	1						兼 1	
	ラグビー	2 前・後	1						兼 1	
発展科目		1 前・後							兼 2	教育課程充実のため担当者増 (29)
	柔道	1 前	1						兼 1	
		1 前・後								
	剣道	1 前	1						兼 1	
		1 前・後								
	ダンスⅠ	1 前	1				1			
	海浜実習	1 前	1						兼 1	集中
	スキーⅠ	1 後	1						兼 1	集中
									兼 3	教育課程充実のため担当者増 (29)
	スケート	1 後	1						兼 1	集中
	キャンプ	2 前	1						兼 1	集中
	幼児体育指導論	2 前	2				1			
	教育の基礎理論 B	2 前	2				1			
	子どもの心理学Ⅰ	2 前	2						兼 1	
	子どもの心理学Ⅱ	2 後	2						兼 1	
	子どもとリズム表現	3 前	1				1		兼 1	
									兼 2	教育課程充実のため担当者増 (29)
	社会福祉	1 後		2					兼 1	
	児童家庭福祉	2 前		2	1					
	家庭支援論	2 後		2	1					
	幼児健康教育論	3 前		2					兼 1	
	子どもの保健Ⅰ	3 前		4					兼 1	
	子どもの保健Ⅱ	3 後		1					兼 1	
	子どもの食と栄養	3 後		2					兼 1	
	子どもの安全管理	3 前	2				1			
	幼少年スポーツ教育論	3 後	2		1					
		1 後								
	体育原理	1 前		2					兼 1	
	スポーツ医学概論	1 後		2					兼 1	
	運動障害救急法 (含実習)	2 前		2					兼 1	
	運動学 (含運動方法学)	2 前		2					兼 1	
	スポーツ栄養学	2 後		2					兼 1	
	スポーツ史	2 前		2					兼 1	
	衛生・公衆衛生学	2 前		2					兼 1	
	卒業論文	4 通	6		5	1	3		兼 2	オムニバス
	日本国憲法	2 前		2					兼 1	
										牛志奎教授就任辞退により変更 (29)
									兼担	金井里弥 (講師)
	教育の制度 B	2 前		2	1				兼 1	オムニバス
	教育と社会	2 後		2			1			
	幼児理解の理論と方法	2 前	2						兼 1	
	(教育相談、カウンセリング 基礎を含む)								兼 1	
	教育方法論 B	3 前	2						兼 2	オムニバス
	保育内容指導論	3 前	2		1					
	乳児保育	2 前		2		1				
	社会的養護内容	2 後		1	1					
	相談援助	2 後		1					兼 1	
	社会的養護	3 前		2	1					
	障害児保育	3 前		2					兼 1	
	保育相談支援	3 後		1					兼 1	

										牛志奎教授就任辞退により変更 (29) 平成29年4～5月審査予定 専任 柴田千賀子 (准教授)
応用科目	教職論C	1 後	2			1	1			兼1 オムニバス
	音楽表現Ⅰ	1 前		2						兼1 集中
	音楽表現Ⅱ	1 後		2						兼1 集中
	絵画・造形表現Ⅰ	2 前		2						兼1
	絵画・造形表現Ⅱ	2 後		2						兼1
	運動身体表現Ⅰ	2 前		2		1				
	運動身体表現Ⅱ	2 後		2		1				
	保育原理	2 後	2			1				
	保育課程論	3 前	2							兼1
	子どもとことばⅠ	3 前		2		1				
	子どもとことばⅡ	3 後		2		1				
	保育内容総論	3 前	2				1			
	保育内容演習 (健康)	3 前	2					1		
	保育内容演習 (人間関係)	3 前	2							兼1
	保育内容演習 (環境)	3 前	2							兼1
	保育内容演習 (言葉)	3 後	2							兼1
	保育内容演習 (表現)	3 後	2							兼1
	スポーツコーチング概論	2 前		2						兼1
	スポーツトレーナー概論	2 前		2						兼1
	スポーツマネジメント概論	2 前		2						兼1
	ジュニアスポーツコーチング論	3 後		2						兼1
		1 後								兼2 教育課程充実のため担当者増 (29)
	テーピング	1 前→後		1						兼1
		1 後								兼2 教育課程充実のため担当者増 (29)
	レクリエーション実技Ⅰ	1 前→後		1						兼1
	体操 (含体づくり運動)	2 前		1				1		
	新体操	2 後		1						兼1
	エアロビックダンス	3 前		1						兼1
	テニス	3 前		1						兼1
	卓球	4 前		1						兼1
	バドミントン	4 前		1						兼1
	ソフトボール	4 前		1						兼1
	ボランティア活動実践A	1 休		1						兼1
	ボランティア活動実践B	2 休		1						兼1
	ボランティア活動実践C	3 休		1						兼1
	ボランティア活動実践D	4 休		1						兼1
	海外短期研修A	1～4		1						兼1
	海外短期研修B	1～4		1						兼1
	海外短期研修C	1～4		1						兼1
	海外短期研修D	1～4		1						兼1
資格関連科目	保育実習Ⅰ	3 休		4		1		1		兼1 オムニバス
	保育実習Ⅱ	4 休		2		1	1			共同
	保育実習Ⅲ	4 休		2		1				
	保育実習指導Ⅰ	2 後		2		1	1	1		共同
	保育実習指導Ⅱ	3 後		1		1	1			共同
	保育実習指導Ⅲ	4 前		1			1			
	保育実践演習	4 後		2			1			
	幼稚園教育実習Ⅰ (事前・事後指導)	3～4		1			1			
	幼稚園教育実習Ⅱ	4 休		4			1			
	教職総合演習 (幼稚園)	3 後		2			1			
	教職実践演習 (幼稚園)	4 後		2		1	1			共同

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成28年度に認可 (届出) された大学等は設置認可 (届出) 時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計 (A)	必 修	選 択	自 由	計	
科目 45	科目 115	科目	科目 160	科目 45 []	科目 115 []	科目 []	科目 160 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに， [] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{160} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	○サッカー・ラグビー場 0.75km、徒歩9分 ○第2グラウンド、野球場他 1.8km、バス利用7分 ○明仙フィールド川平 37.3km、車利用66分			
	校 舎 敷 地	45,608.11㎡	－ ㎡	－ ㎡	45,608.11㎡				
	運動場用地	106,984.00㎡	－ ㎡	－ ㎡	106,984.00㎡				
	小 計	152,592.11㎡	－ ㎡	－ ㎡	152,592.11㎡				
	そ の 他	32,599.6 (29) 32,683.21㎡	－ ㎡	－ ㎡	32,599.6 (29) 32,683.21㎡				
	合 計	185,191.71 (29) 185,275.32㎡	－ ㎡	－ ㎡	185,191.71 (29) 185,275.32㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	19,562.40㎡ (19,562.40㎡)	－ ㎡ (－ ㎡)	－ ㎡ (－ ㎡)	19,562.40㎡ (19,562.40㎡)					
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		36室	16室	25室	1室 (補助職員 2人)	－ 室 (補助職員 1人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成29年1月 就任予定専任教授1名退職のため(29)		
		体育学部子ども運動教育学科			109 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	[大学全体での共用分] 図書123,217冊 [17,418冊] 学術雑誌1,463種 [160種] 電子ジャーナル3,823種 [2,120種] データベース契約数5 視聴覚資料3,485	
		体育学部 子ども運動教育 学科	950 [115] (900 [100])	100 [15] (20 [3])	1 [0] (1 [0])	30 (30)	1,440 (1,404)		20 (20)
	計	950 [115] (900 [100])	100 [15] (20 [3])	1 [0] (1 [0])	30 (30)	1,440 (1,404)	20 (20)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,323.36㎡		220		130,000			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		20,965.32㎡		ハンドボールコート1面					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には、 電子ジャーナル・ データベースの整備 (運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	6,874千円	827千円	943千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	29,184千円	500千円	500千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,370千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金及び手数料収入						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	仙 台 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
大学院スポーツ科学研究科	2	23	—	46	修士 (スポーツ科学)	0.84	平成10	宮城県柴田郡柴田町 船岡南二丁目2番18号	
体育学部	—	550	3年次 48	2156	—	1.19	—	同上	
体育学科	4	250	3年次 10	1020	学士 (体育学)	1.29	昭和42	同上	
健康福祉学科	4	100	3年次 20	440	学士 (健康福祉学)	1.08	平成7	同上	
運動栄養学科	4	80	3年次 8	336	学士 (運動栄養学)	1.06	平成15	同上	
スポーツ情報マネジメント学科	4	40	3年次 —	160	学士 (スポーツ情報 マネジメント学)	1.19	平成19	同上	
現代武道学科	4	40	3年次 10	160	学士 (現代武道学)	1.43	平成23	同上	
子ども運動教育学科	4	40	3年次 —	40	学士 (子ども運動 教育学)	0.45	平成29	同上	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<体育学部 子ども運動教育学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科長)	久能 和夫 (64)	平成29年4月	学習基礎教養演習 体育系大学の基礎教養 全学教養演習 卒業論文 子どもとことばⅠ 子どもとことばⅡ						
専	教授	針生 弘 (62)	平成29年4月	導入演習 全学教養演習 キャリアプランニングⅠ 子どもの生活Ⅰ 子どもの生活Ⅱ 卒業論文						
専	教授	郡山 孝幸 (62)	平成29年4月	全学教養演習 体育講義 子どもとあそび 幼少年が「教育論」 卒業論文						
専	教授	NIU ZHIKUI 牛 志奎 (53)	平成29年4月	全学教養演習 中国語Ⅰ 教育の制度B 教職論C	兼任	准教授 講師	馬 佳濃 (39) 平成29年 4月1日付 准教授昇任	平成29年4月	中国語Ⅰ	平成29年1月、牛志奎 教授、一身上の都合により 退職。 平成29年度より担当者の 変更。(29) 全学教養演習については、 他に担当教員が充分いる ため後任補充せず。 教職論C－柴田准教授に ついては平成29年4～5月 AC教員審査予定(29)
					兼任	講師	金井 里弥 (36)	平成30年4月	教育の制度B	
					専任	准教授	柴田千賀子 (42)	平成29年4月	教職論C	
専	教授	原田 健次 (55)	平成30年4月	全学教養演習 卒業論文 保育内容指導論 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 教職実践演習(幼稚園) 運動・身体表現Ⅰ 運動・身体表現Ⅱ						
専	教授	千葉 喜久也 (65)	平成29年4月	児童家庭福祉 家庭支援論 社会的養護内容 社会的養護 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 卒業論文						
専	教授	大宮 勇雄 (65)	平成30年4月	保育原理						平成28年11月AC教員審査済(29)
専	准教授	柴田 千賀子 (42)	平成29年4月	全学教養演習 卒業論文 乳児保育 保育内容総論 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習 幼稚園教育実習Ⅰ (事前・事後指導) 幼稚園教育実習Ⅱ 教職総合演習(幼稚園) 教職実践演習(幼稚園)	専	准教授	柴田 千賀子 (42)	平成29年4月	全学教養演習 卒業論文 乳児保育 保育内容総論 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習 幼稚園教育実習Ⅰ (事前・事後指導) 幼稚園教育実習Ⅱ 教職総合演習(幼稚園) 教職実践演習(幼稚園) 教職論C	平成28年11月AC教員審査済(29)
専	講師	佐々木 和 (56)	平成30年4月	保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ						
専	講師	金 賢植 (40)	平成29年4月	全学教養演習 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 幼児体育論 子どもと発育 幼児体育指導論 子どもの安全管理 卒業論文 保育内容演習(健康)						
専	講師	山梨 雅枝 (36)	平成29年4月	導入演習 全学教養演習 キャリアプランニングⅠ ダンスⅠ 子どもリズム表現 卒業論文						
専	講師	三谷 高史 (36)	平成29年4月	社会学概論 社会構造と人間関係 全学教養演習 教育の基礎理論B 卒業論文 教育と社会						
専	助教	溝口 絵里加 (31)	平成29年4月	全学教養演習 体操(身体づくり運動)						

兼担	教授	Marty Kuehnert (72)	平成31年4月	ｽｽﾞｰｸﾞﾘﾝｸﾞ ｸﾘｯｼｭ							
兼担	教授	高成田 享 (69)	平成29年4月	消費経済とｽｽﾞｰｸﾞ							
兼担	教授	遠藤 保雄 (70)	平成29年4月	世界経済・日本経済とｽｽﾞｰｸﾞ	兼任 兼担	教授	遠藤 保雄 (70)	平成29年4月	世界経済・日本経済とｽｽﾞｰｸﾞ 消費経済とｽｽﾞｰｸﾞ	引き続き兼任教員として勤務(29) 担当科目の追加変更(29)	
兼担	教授	大内 悦夫 (66)	平成29年4月	日本の文化Ⅰ 日本の文化Ⅱ 教養数学 仙台大学の専門教養演習Ⅰ 仙台大学の専門教養演習Ⅱ 仙台大学の専門教養演習Ⅲ 全学教養演習 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ							
兼担	教授	青沼 一民 (67)	平成30年4月	相談援助 保育相談支援							
兼担	教授	児玉 善廣 (64)	平成29年4月	バスケットボール	兼担	教授	児玉 善廣 (64)	平成29年4月	バスケットボール スケート	担当科目の追加変更(29)	
兼担	教授	志賀野 博 (64)	平成29年4月	ボランティア活動実践A ボランティア活動実践B ボランティア活動実践C ボランティア活動実践D							
兼担	教授	橋本 実 (63)	平成29年4月	幼児健康教育論 ｽｽﾞｰｸﾞ医学概論 運動障害救急法(含実習)							
兼担	教授	小松 恵一 (62)	平成29年4月	哲学入門 現代の思想 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ							
兼担	教授	渡邊 康男 (64)	平成31年4月	障害児保育							
兼担	教授	平田 忠 (61)	平成29年4月	心理学概論 人の心と行動 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ							
兼担	教授	川口 鉄二 (61)	平成29年4月	スケート 運動学(含運動方法学) ジュニアスポーツコーチング論	兼担	教授	川口 鉄二 (61)	平成29年4月	スケート 運動学(含運動方法学) ジュニアスポーツコーチング論		
					兼任		中津 範洋 (29)	平成29年4月	スケート	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)	
兼担	教授	齋藤 浩二 (60)	平成29年4月	剣道							
兼担	教授	高橋 弘彦 (55)	平成29年4月	スキーⅠ 衛生・公衆衛生学							
兼担	教授	小松 正子 (58)	平成30年4月	衛生・公衆衛生学							
兼担	教授	荒井 龍弥 (55)	平成29年4月	教育方法論B 海外短期研修A 海外短期研修B 海外短期研修C 海外短期研修D							
兼担	教授	鎌田 幸雄 (56)	平成30年4月	ことばと人間A ことばと人間B ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾝ ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｲﾝｸﾞ A ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｲﾝｸﾞ B	兼担	教授	鎌田 幸雄 (56)	平成30年4月	ことばと人間A ことばと人間B ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾝ ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｲﾝｸﾞ A ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｲﾝｸﾞ B 英語A(含む内閣語)Ⅱ(29-30) 英語B(含む内閣語)Ⅱ(29-30)	担当科目の追加変更(29) 担当科目の追加変更(29)	
兼担	教授	栗木 一博 (54)	平成29年4月	スポーツ心理学							
兼担	教授	宮西 智久 (53)	平成30年4月	スポーツバイオメカニクス							
兼担	教授	永田 秀隆 (49)	平成29年4月	スポーツ社会学 ｽｽﾞｰｸﾞﾌｫｰﾐﾂ ｾﾐﾅｰ概論	兼担	教授	永田 秀隆 (49)	平成29年4月	スポーツ社会学 ｽｽﾞｰｸﾞﾌｫｰﾐﾂ ｾﾐﾅｰ概論	スポーツ社会学は他の教員が担当(29)	
					兼担	講師	荒牧 亜衣 (33)	平成29年4月	スポーツ社会学 バレーボール	科目の担当者変更による(29) 科目の担当者変更による(29)	
兼担	教授	関矢 貴秋 (51)	平成29年4月	社会福祉							
兼担	教授	森本 吉謙 (43)	平成30年4月	ｽｽﾞｰｸﾞ指導の基礎(含実習) ｽｽﾞｰｸﾞｺｰﾁﾝｸﾞ 概論 ソフトボール							
兼担	教授	長橋 雅人 (47)	平成31年4月	子どもの食と栄養							
兼担	准教授	内丸 仁 (47)	平成30年4月	運動生理学	兼担	教授 准教授	内丸 仁 (47) 平成29年 4月1日付 教授昇任	平成30年4月	運動生理学		

兼担	准教授	菊地 直子 (48)	平成32年4月	バドミントン	兼担	准教授	菊地 直子 (48)	平成32年4月	バドミントン スポーツ心理学	担当科目の追加変更(29)
兼担	准教授	南條 充寿 (44)	平成29年4月	柔道	兼担	教授 准教授	南條 充寿 (44) 平成28年 4月1日付 教授昇任	平成29年4月	柔道	
					兼担	講師	仲田 直樹 (34)	平成29年4月	柔道 トレーニングの基礎	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29) 教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
兼担	准教授	武石 健哉 (47)	平成30年4月	ラグビー						
兼担	准教授	真野 芳彦 (47)	平成30年4月	スポーツ栄養学						
兼担	准教授	藪 耕太郎 (39)	平成30年4月	スポーツ史 キャリアプランニングⅡ キャリアプランニングⅢ						
兼担	准教授	早川 公康 (45)	平成30年4月	幼少年体育論	兼担	教授 准教授	早川 公康 (45) 平成29年 4月1日付 教授昇任	平成30年4月	幼少年体育論	
兼担	准教授	石丸 出穂 (40)	平成29年4月	バレーボール						
兼担	准教授	高橋 亮 (55)	平成29年4月	教職論C	兼担	教授 准教授	高橋 亮 (55) 平成28年 4月1日付 教授昇任	平成29年4月	教職論C	
兼担	講師	内野 秀哲 (53)	平成29年4月	情報処理	兼担	講師	内野 秀哲 (53)	平成29年4月	情報処理	
					兼任		相場 徹 (50)	平成29年4月	情報処理	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
兼担	講師	ジェリー・ハラギ (46)	平成29年4月	英語A(含む外国語)・中国語 英語B(含む外国語)・中国語 英会話A 英会話B	兼担	講師	ジェリー・ハラギ (46)	平成29年4月	英語A(含む外国語)・中国語 英語B(含む外国語)・中国語 英会話A 英会話B	
					兼担	教授	菊地 博 (61)	平成29年4月	英語A(含む外国語)・中国語 英語B(含む外国語)・中国語	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29) 教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
					兼任		志子田真由子 (49)	平成29年4月	英語A(含む外国語)・中国語 英語B(含む外国語)・中国語	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29) 教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
兼担	講師	山口 貴久 (42)	平成30年4月	スポーツトレーナー概論	兼担	准教授 講師	山口 貴久 (42) 平成28年 4月1日付 准教授昇任	平成30年4月	スポーツトレーナー概論	
兼担	講師	馬 佳濤 (39)	平成30年4月	中国語Ⅱ 卓球	兼担	准教授 講師	馬 佳濤 (39) 平成29年 4月1日付 准教授昇任	平成29年4月	中国語Ⅱ 卓球 中国語Ⅰ	担当科目の追加変更(29)
兼担	講師	鈴木 良太 (39)	平成30年4月	器械運動						
兼担	講師	高橋 陽介 (36)	平成29年4月	テーピング						
兼担	講師	岡田 成弘 (34)	平成29年4月	キャンプ レクリエーション実技Ⅰ						
兼担	講師	門野 洋介 (34)	平成29年4月	トレーニングの基礎 陸上競技	兼担	講師	門野 洋介 (34)	平成29年4月	トレーニングの基礎 陸上競技	
					兼担	教授	阿部 肇 (54)	平成29年4月	トレーニングの基礎	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
					兼担	准教授	名取 英二 (59)	平成29年4月	陸上競技	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
					兼担	講師	宮崎 利勝 (40)	平成29年4月	トレーニングの基礎 陸上競技	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
					兼担	講師	柴山 一仁 (33)	平成29年4月	トレーニングの基礎 陸上競技	教育内容充実を図るための兼任教員追加(29)
兼担	講師	金井 里弥 (36)	平成30年4月	教育の制度B						
兼担	講師	吉井 秀邦 (45)	平成30年4月	サッカー	兼担	准教授 講師	吉井 秀邦 (45) 平成28年 4月1日付 准教授昇任	平成30年4月	サッカー	
兼担	講師	高橋 徹 (31)	平成29年4月	体育原理						
兼担	講師	渡邊 泰典 (31)	平成29年4月	水泳 海浜実習						

兼担	助教	桑原 康平 (36)	平成29年4月	ハンドボール	兼担	講師 助教	桑原 康平 (36) 平成28年 4月1日付 講師昇任	平成29年4月	ハンドボール	
兼担	助教	河野 未来 (28)	平成30年4月	新体操	兼担	助教	河野 未来 (28)	平成30年4月	新体操 トレーニングの基礎	担当科目の追加変更(29)
兼担	助教	佐藤 周平 (35)	平成31年4月	テニス	兼担	講師 助教	佐藤 周平 (35) 平成28年 4月1日付 講師昇任	平成31年4月	テニス	
兼任		加藤 英俊 (69)	平成29年4月	法学 日本国憲法						
兼任		伊達 宗弘 (71)	平成29年4月	歴史学入門 歴史と人間						
兼任		穴戸 勇 (73)	平成29年4月	生物科学 エコロジー概論						
兼任		渋谷 祐子 (51)	平成31年4月	エアロビクスダンス						
兼任		和田 裕一 (72)	平成31年4月	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ						
兼任		志賀 圭子 (59)	平成30年4月	絵画・造形表現Ⅰ 絵画・造形表現Ⅱ 保育内容演習(表現)						
兼任		佐藤 哲也 (54)	平成31年4月	保育課程論 教育方法論B						
兼任		氏家 靖浩 (51)	平成30年4月	幼児理解の理論と方法 (保育理論、実践の基礎を学ぶ)						
兼任		足立 智昭 (59)	平成30年4月	子どもの心理学Ⅰ 子どもの心理学Ⅱ						
兼任		越中 康治 (40)	平成31年4月	保育内容演習(人間関係)						
兼任		飯島 典子 (46)	平成31年4月	保育内容演習(言葉)						
兼任		岩淵 摂子 (45)	平成29年4月	音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ						
兼任		東 義也 (57)	平成31年4月	保育実習Ⅰ						
兼任		山崎 裕 (62)	平成31年4月	保育内容演習(環境)						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていな場合は、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていな場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
7	1	4	1	13	4	1	3	1	9	6	1	4	1	12
(4)	(1)	(3)	(1)	(9)						[△1]	[0]	[0]	[0]	[△1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授67		
准教授63	0	3
講師以下60		
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
4	教授	NIU ZHIKUI 牛 志奎	必修	全学教養演習	③	平成29年1月、一身上の都合により退職。就任辞退（29）		
			選択	中国語Ⅰ	②			
			選択	教育の制度B	②			
			必修	教職論C	①			
合計（A）					後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人		必修	2 科目	必修	1 科目	必修	1 科目
			選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	4 科目	計	1 科目	計	1 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
該当なし							
合計（C）							
後任補充状況の集計（D）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	1 科目		
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	4 科目	計	1 科目	計	2 科目	計	1 科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

牛教授（中国語Ⅰ－基礎科目・選択、教育の制度Ｂ－応用科目・選択必修、教職論Ｃ－応用科目・必修）の後任は「５．教員組織の状況」に記載のとおり。「教職論Ｃ」は新規教員を採用せず既存の教員で対応する計画である。現在専任教員採用等設置計画変更書の手続きを行い、AC教員資格審査の結果伝達を待っている状況であるが、後任の教員については、同分野での業績も十分であることから、授業運営及び教育面における学生に対しての支障はないと考えている。

学生への周知に関しては年度初めのオリエンテーション、学生便覧、シラバスにより十分に説明を行っている。また、全学教養演習については９名の専任教員が担当している科目であることから支障のないものと考えている。（29）

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (H28年8月)	1. 教員の補充を必要 とされた1授業科目に ついては、科目開講時 までに確実に専任教員 を配置して教員を充足 すること。	留意事項 留意事項とされていた1授 業科目「保育原理」につい ては、大宮勇雄専任教員 (平成30年4月就任)を補充し 専任教員採用等設置計画変 更書を提出し、教員資格審 査(AC教員審査:平成28年11 月審査)を受審、判定「可」 をうけており教員は充足し ている。(29)	
	2. 体育学部現代武道 学科の入学定員超過の 是正に努めること。	留意事項 平成28年度からは入学定員 を30名から40名に増員した。 平成29年度入試における入 学者は50名(1.25倍)とな る。引き続き、適切な定員 管理に鋭意努力していく所 存である。(29)	

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の
寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等
について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する
履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付
してください。
 - ・同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に
記入してください。
 - ・該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して
ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<体育学部 子ども運動教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育改善企画運営委員会を設置。授業方法の改善や教育内容の充実など教員の資質の維持向上に努める。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度：5/17、6/14、7/12、8/9、9/20、10/18、11/15、12/13、1/17、2/21、3/28 計11回 委員8名

c 委員会の審議事項等（平成28年度）

- ・ 今年度の活動計画について
- ・ 委員の役割分担について
- ・ 前期授業改善アンケートの実施について
- ・ C O C + に関わるFD研修会について
- ・ ベストティーチャーズ賞と学習状況調査について
- ・ 第18回基盤教育ワークショップ、学生FD会議2016について
- ・ シラバスの作成について
- ・ FD合宿セミナーについて
- ・ 教員の語学力向上のためのFDについて
- ・ シラバスの編集作業の変更点について
- ・ FDネットワークつばさ協議会について
- ・ 後期授業改善アンケートの実施について
- ・ 「仙台大学で英語による授業の導入を目指して」について
- ・ 新任教員研修会について
- ・ FD広報誌（S U F D レポート2016）の発行について
- ・ 授業改善アンケートの活用について

② 実施状況

a 実施内容

- ・平成28年度新任教員のためのFDセミナーについて
- ・第17回FDネットワークつばさ FD協議会
- ・COC+事業と共催によるFD研修会
「ディープ・アクティブラーニング：－仙台大学の教育に活かす方法を探る－」
- ・第16回山形大学FD合宿セミナー
- ・第18回基盤教育ワークショップ
- ・学生FD会議2016
- ・FD研修会「学生主体の授業づくりのあり方と展望～学生が自ら学ぶ授業とは～」
- ・FD研修会「仙台大学で英語による授業の導入を目指して」

b 実施方法

- ・セミナー/ワークショップ/、冊子/データ等による情報共有、学外派遣等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- | | | |
|--|-----------|-------------|
| ・平成28年度新任教員のためのFDセミナーについて | (4/5) | 教員9名+委員8名 |
| ・第17回FDネットワークつばさ FD協議会 | (6/4) | 教員1名派遣 |
| ・COC+事業と共催によるFD研修会
「ディープ・アクティブラーニング：－仙台大学の教育に活かす方法を探る－」 | (7/26) | 教員22名 |
| ・第16回山形大学FD合宿セミナー | (9/5・9/6) | 教員1名派遣 |
| ・第18回基盤教育ワークショップ | (9/9) | 教員1名派遣 |
| ・学生FD会議2016 | (9/13) | 教員1名、学生2名派遣 |
| ・平成28年度FD研修会
「学生主体の授業づくりのあり方と展望～学生が自ら学ぶ授業とは～」 | (11/1) | 教員16名、学生16名 |
| ・平成28年度FD研修会
「仙台大学で英語による授業の導入を目指して」 | (3/10) | 教員17名 |

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会の後、全教員で情報を共有。FD広報誌等。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・FDネットワークつばさ（山形大学主管）へ加盟
- ・前期1回、後期1回、計2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員にのみフィードバック

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科の基本的な理念…少子高齢化が急速に進行する中、幼児期の子どもを含め、少ない数の子どもを如何に心身ともに健全に育成し、今後の社会の担い手に育てていくかが、我が国にとっての、大きな教育的、社会経済的な喫緊の課題となっている。このような状況を踏まえ、本学科においては、幼児期の子どもの心身の健全な育成に資するため、その発達段階で直面する問題、その発達を促す上での教育の特性を踏まえ、体育学を基盤としつつ、関連する教育学・保育学の領域を含めた、次の教育研究と人材の養成を行うことを基本的な理念とする。

・家庭・施設(幼稚園・認定こども園・保育所)、地域での幼児期の子どもの教育・保育を視野に入れ、幼児期の子どもに対し、運動遊びを軸とする身体活動の支援・助長、それを通じた心身の発達に資する総合的かつ体系的な教育研究。

・幼児期の子どもに対し、運動遊びを軸とする身体活動の支援・助長、これを通じた心身の健全な発達を促すことのできる高度な専門知識と実践的な教育力、更には、豊かな感性を有した幼稚園教諭の人材の育成、及びこれに併せての保育教諭、保育士、地域での幼児体育指導者などの人材の養成。

本学科の目的…i) 体育・スポーツ健康科学をベースとした体育学の領域を基盤とした運動遊びの支援・助長のあり方を軸とした幼児期の子どもの保育や教育に関する教育研究、ii) これに教育学・保育学にまたがる関係分野も取り込んだ、より総合的な幼児期の子どもの保育と幼児教育に関する教育研究、iii) 幼少連携や幼保連携を視野に入れ、また、家庭・施設・地域を視野に地域全体で子どもの学びの展開をも念頭に置き、体育学を基盤として、これに関連する教育学・保育学をも合わせて修得し、幼児期の運動遊びの支援・助長を軸とした総合的な幼児教育を進めることに深い理解・関心・知見を有した幼稚園教諭、保育教諭、保育士、地域や家庭での幼児体育指導者を育成する。

設置初年度であり、完成年度に向け、今後具体的な総括評価・所見をしていく予定。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年7月1日 公表(予定)

b 公表方法

学科専任教員の当該調査対象となる組織に関する評価内容を含む報告書はなし。

自己点検評価に関しては毎年度実施しており冊子として取り纏めている。

現在のところ教職員に限定し配付。

③ 認証評価を受ける計画

平成25年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審、同機構の定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けた。今後については、平成32年度までに受審する方向で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年7月31日)